



## 現代イソップ物語 く金を買うアリと消費するキリギリス

むかしむかしあるところに、虫の王国があり、東の町にはアリが、西の町にはキリギリスが住んでいました。

ある年の夏は大変な猛暑でした。虫たちは毎日、「あつい、あつい」と言って過ごしていました。そんな暑さのなか、アリは汗を流して毎日一生懸命働いていました。そして、お金を稼いでは少しずつ金貨に替えて、壺の中に蓄えています。一方、キリギリスはお金が入れば、豪華な店で外食をし、遊園地や映画館に行ったり、欲しいものを好きだけ買ったりして、その日その日の楽しみだけを考えて暮らしていました。

やがて、夏がすぎ、秋になり、そして寒い寒い冬がやってきました。

その年の冬は、大寒波が襲ってきて例年のない寒さとなりました。あまりの寒さに、キリギリスは暖炉で薪をどンドン燃やしました。すると、薪はあつという間にすべてなくなってしまうました。やがて暖炉の最後の火も消え、家の中は外のような寒さになりました。キリギリスは、薪を買いたくて、家中の洋服や家財道具や車などを売りましたが、手にしたお金はほんのわずか。とても冬を越すための十分な薪を買うことはできませんでした。寒い部屋の中で、温かい食事にもありつけず、着替える服もなく、毎日ブルブル震えていました。

ついに、キリギリスはたまらなくなつて、東の町に住むアリのところにお金を借りに行きました。アリの家に入ってキリギリスはビックリしました。

なんと、アリの家の暖炉は赤々と燃えていて、家の中はポカポカと暖かく、テーブルの上にはおいしそうな温かい食事が並んでいたのです。キリギリスはアリの暮らしぶりをたいへんうらやましく思つて聞きました。



「どうしてアリさんはこんな暮らしができるんだい？」

するとアリはこう答えました。

「ぼくは、毎月できるだけのお金を金貨に替えて貯蓄しておいたんだ」

と言って、壺を持ってきて中身を見せてくれました。

壺の中には、小さな金貨がギッシリ詰っていました。キリギリスはアリに聞きました。

「アリさん、すまないけどその金貨を二、三枚貸してくれないかい？」

さて、ここでみなさんに質問です。

問一．あなた自身を虫にたとえると、アリとキリギリスのどちらですか？

問二．もしあなたがアリだとしたらキリギリスに金貨を貸してあげますか？

みなさんの答えはいかがでしょう？

むかしむかしで始まるアリとキリギリスのお話ですが、実はこれは、昔話ではなく、現代の話であり、私たち自身の話なのです。大寒波とは、現代の不況の波にほかなりません。キリギリスは快適な生活に慣れ、欲しいものは何でも手に入ることが当然だと思い、将来への危機感が薄い現代の日本人の姿を象徴しています。一方、アリは本来の性分から将来の危機を見越して、毎月コツコツと金貨で貯金をしていました。そのおかげで、大寒波（大

不況)の際にも、快適な衣食住を手にすることができたのです。

なぜアリが現金ではなく、金貨で貯金をしていたかという点、それは、アリが金の価値を知っていたからです。人類が金と出会ってから数千年以上が経ちますが、金の価値が暴落したことは一度もありません。それどころか、戦争や紛争や世界恐慌、自然災害などの惨事が起こるたびに、金の価値は高くなります。人類の歴史の中で、金を持っていたがために救われた命も数知れません。未曾有の不況のとき、お金は一瞬にして紙くずに変わることはありません。そんなときに最も力を発揮するのが金なのです。

金貨一枚は数万円で、購入出来ますが、いざとなったとき、一枚の金貨がどれだけあなたの身を守ってくれるかを考えてみたことはありませんか？

この小冊子で皆さんにお伝えしたいのは、金の価値を知り、絵空ごとではない未曾有の事態に備えて、今から金の貯蓄を始めて頂きたいということです。





## 不況の時には金きんを買おう！

私が、金のビジネスに興味を持つようになったきっかけとなる幼少の頃のエピソードをお話しましょう。実は、私の父からの影響があったのです。

私の父は銀貨や金貨の収集をすることが好きで、私が小さいころよく、天皇陛下の御成婚記念金貨や在位記念金貨などさまざまな金貨を集めていました。

「牧志、いいのを見せてやるぞ！」

そう言って、父が私の手に乗せてくれた十万円金貨はずっしりと重く、今でも印象深い思い出として記憶に残っています。

「この金貨は十万円の価値があるんだ。牧志が大人になった時にはもっと高くなっているかもしれないぞ。」

父のその言葉が私の心に深く残りました。その頃からコインに対する興味がどんどん膨れ上がっていったのです。次第にコイン集めに夢中になり、当時、「ギザ十」と呼ばれていたギザギザしている十円玉や、大きな五十円玉を集めてはコインブックに収集していました。単に集集するのが楽しかったのと、いつの日かコインの価値が上がるのではないかというワクワクする気持ちだったことを今でも覚えています。

もう一つ、金の購入を皆さまに勧めるようになった理由をお話しします。社会人になって、私の田舎の長野県に帰省する度に、手土産として実家の親にお菓子や果物や洋服などを買っていくと、

「こんな無駄なもの買ってくるな！無駄遣いはするな！」

となぜか父に怒られました。

私としては一生懸命に考えて買っていたのに、なんで喜んでもらえないのかと不思議でした。

しかし、あるとき私は幼少の頃、嬉しそうに私に金貨を見せてくれた父のことを思い出し、帰省の手土産に金貨を買って帰ることにしました。三万円位の四分の一オンスのメープルの金貨でした。その金貨を見て、父親は初めて嬉しそうな表情を見せてくれました。おそらく、田舎の農家に生まれ育った父にとって、私の消費行動はまさにキリギリスのように映っていたのでしょう。

なんと、あるとき私が父に贈った金貨は現在、三万八千円の価値になっています！

---

【金に関する豆知識①】大正生まれの女性たちは、マリッジリングとして「金のカマボコ」と呼ばれる太いリングを好んだ。どこそこの奥さんのより太いか細いかと競争心を燃やし、金歯の地金を足すなどして太く作り直したりしていた人も珍しくなかった。しかし、次第に、「金のカマボコ」の人気はなくなっていくた。



## もしも一万円札が紙くずになったら

ある朝、あなたが目覚めたとき、あなたが持っている一万円札が真っ白な紙に変わっていたらあなたはどうしますか？

「そんなバカなことは絶対にない！」「そんなことは日本で起るわけない！」  
と断言する人もいるかもしれませんが。

ここまでの楽観主義でなくとも、

「なんだかんだいっても、日本の将来はなんとかなるだろう」

と考えている人は少なくないでしょう。しかし、脅すつもりはまったくくないのですが、残念なことに、近い将来一万円札が一瞬にして紙きれ同然の価値になってしまいうことが高い確率でありえるのです。その理由を説明しましょう。

皆さんは、日本国が抱える負債額を御存知ですか？

なんと、日本国の負債額は【八五〇兆円】を超え、家庭当たりは【一六〇〇万円】以上、一人当たりは【六五〇万円】にもなるのです。

日本は、先進国でありながら世界でワースト二位というありえないほどの借金大国なのです。

借金はどうしてできるかというと、日本国は国債という借入書を発行しつつ、その利子を払うために、またさらに国債を発行しているからです。これはサラ金に例えると、借金を返すために借金をするという恐ろしい状態で、雪だるま式に負債は膨れあがってきています。そして、この負のスパイラルを止める手段を誰も見つけられずにいるのです。

このまま借金が進むと、近い将来にハイパーインフレがやってきます。ハイパーインフレになると物の値段が十倍、百倍と高騰します。つまり、一万円札の価値が千円、百円とどんどん下がってしまつのです。

日本人は世界でも勤勉な民族であり、国に対する信用は他国と比べても高いという国民性があります。しかし、国の通貨に対する不信感が芽生えた瞬間、一斉に日本円から目を背けるようになるでしょう。つまり、通貨価値が崩壊するのも秒読み段階に入っていると断言しても過言ではないのです。

---

【金に関する豆知識②】現在は、日本でマリッジリングを買う時にはほとんどの人がプラチナを選ぶ。しかし、ヨーロッパでマリッジリングなのにプラチナをつけていると、銀と思われて恥をかくこともある。また、欧米人が金を好むのは、これを身につけていればどこでも生きていける、という考えがある。ジブシーなどは、すべての金を身につけて移動する。



## 贈り物の99%が消費です！

私たちは、誕生日やクリスマス、バレンタインデー、ホワイトデー、お中元やお歳暮など、家族や恋人、日ごろお世話になっている人たちに対して、一年中たくさんのお物を贈り合います。

実は、これらの私たちが人に贈る贈り物の99%が消費されるものです。

もちろん、相手がほんとうに必要としている生活必需品のようなものであれば、贈ってあげる価値はあるでしょう。また、相手への感謝や謝罪や愛情の印として物を贈り合ったりすることはあります。

しかし、胸に手を当ててちょっと考えてみてください。誕生日やクリスマス、お中元やお歳暮で頂いたもののどれくらいを実際に使っているでしょうか？過去一年間の間に何かしらの贈り物をもらっている人は多いと思いますが、そのプレゼントを心からありがたいと感じ、今も大事にしている人はどれだけいるでしょうか？ほとんどの人が、答えに窮すると思います。つまり、あらゆる贈り物のほとんどが、その瞬間だけの気持ちや、楽しみでしかないのです。

ところが、金だけは違います。金をプレゼントとして贈った場合、もらった人は捨てる

ということではなく、どこかに大切に保管しておくことでしよう。つまり、消費ではなく貯蓄になるのです。金だけが、唯一、消費されない永遠の価値を持っていると言っても良いでしょう。

「金ではなく、レアメタルや宝石でも良いのでは？」

という声もあるでしょう。レアメタルや宝石もそれ自体には確かに価値はありますが、「流通ができない」という欠点があります。また、金は火事になっても燃えてなくなることはありませんが、宝石の王様であるダイヤモンドは石炭と同じなので、燃えて消えてなくなってしまうです。

さらに、買う時には十倍の高い値がつき、売るときの価値は十分の一になっってしまうのが一般的です。つまり、金以外に、流通ができて、火に強く、買う時と売る時の価値が大きく変わらないものはないのです。

男性は女性に数十万円もする高価なブランドバックを贈ることがありますが、ブランドのバックを買うお金で金を購入して贈ってみてはいかがでしょうか？

---

【金に関する豆知識③】日本でジュエリーによく使われている18金は、22金や24金とは色や輝きが異なり落ち着いた印象がある。東洋人の黄色い肌に金色はあまり似合わない。逆に、ヨーロッパやインドでは、断然純金に近い22金や24金に人気がある。白い肌、明るい色の髪には、豪華な金が似合う。また浅黒い肌にも金の輝きはよく映える。



## 経営者は金貨でボーナスを払おう！

私の知り合いのIT系の会社の社長さんは、ボーナスの一部を金貨で支払っています。たいへん素晴らしいアイディであり、この社長さんはほんとうに社員のことを考えていると感心しました。

皆さんの中には、「ボーナスが金で支払われたら困る！」と思われる人もいるかもしれませんが。しかし、この会社ではボーナスの一部が金になったからと言って不平を言う社員は一人もいないそうです。どうしてもボーナスの全額を現金で必要な社員がいる場合は、もちろん現金に換金することも可能だからでしょう。しかし、ボーナスの全額を現金払いで要求してきた社員はこれまで一人もおらず、むしろこの「一部金貨でボーナス制度」は、社員からは大変好評を得ているそうです。

その会社では一回のボーナスでは金貨十枚位（約十数万円相当額）が支払われていて、社員の中にはその金貨を、ご両親やご家族に配っている人もいます。そして何より、ボーナスの時期を前よりももっと楽しむことができるようになったという声が聞かれるそうです。

家庭で金の保有をすることになれば、金の価値についての認識をみんなが高めていく機

会ができます。そして、ボーナスの度に社員の金の保有量は増え、いざという時に社員の身を守る確かな保障をつくっていくことになります。

スーパースインターナショナルでも、二〇〇九年の忘年会などで、社員に一枚ずつ金貨を手渡してプレゼントしています。また、社員が大きな契約をまとめてきた場合などは、金貨で報償を与えています。金一封ではなく、金貨一封です。社員に金貨を渡した時の、社員の顔つきはほんとうに輝いています（笑）。

一番安い金貨は一万円前後で購入が可能です。たった一万円で社員がやる気になり、かつ未来への確かな貯蓄になるなんて、たいへん素晴らしいことです。

この本をお読みの経営者にお勧めしたいのが、会社のボーナスや創立記念日や忘年会等で、是非金貨を配るということです。金貨を配るだけですので、大きな設備投資も改革も必要ありません。社員とその家族のことを本気で大切にしたいと考える気持ちさえあれば、今すぐにでも始めることができますのです。

---

【金に関する豆知識④】バブル期にも純金のアクセサリーが流行った。女性だけでなく、男性も金の喜平や、純金のコインペンダントをこれ見よがしに身につけている人がたくさんいた。当時は日焼けサロンもブームであり、よく焼けた黒い肌には確かに純金は良く似合った。



## 子供の誕生日に金貨をあげよう！

ボーナスを金貨で支払う社長さんから、もう一つ素敵なお話しを聞かせていただきました。その会社のある社員が、奥さんにボーナスの金貨を何枚かあげたところ、その奥さんはその金貨を数年間、大切に保管しておいたそうです。

そして、子供が十歳になった誕生日から、毎年一枚の金貨を誕生日のプレゼントとしてあげようと決めました。また、金貨と一緒に、十枚の金貨が入る綺麗なケースもあわせてプレゼントしました。そのお母さんは子供に、と言って、金の価値について子供が分かるように話してあげました。すると、子供は金に大変興味を持ったようで、

「ケースがいっぱいになるまで貯まったらいいな！ ぼく貯める！」  
と言って、母親が期待して以上に喜んだそうです。

また、金貨をもらった子供のお金に対する認識に、大きな影響を与えたとも言っていました。今までは、お小遣いをあげるとすぐに使っていたのですが、金貨を貰うようになるのと、その金貨を大切に持っているだけでなく、毎月貰うお小遣いも貯金するようになったのだと言います。

金貨という具体的な形のある貯蓄が、子供の金銭感覚を変えたのでしよう。

実際に本物の金貨を子供に触らせるには、情操教育にもなります。金貨は子供の独立心や経済感覚を育て、お金を大切にすることをはぐくむことができます。

日本人は世界の中でも、お金を稼ぐことに対して抵抗感を持っていたり、お金を使うことにも過剰な罪悪感を抱くことがあります。これは、江戸時代から定着した儒教の流れで、質素儉約の思想が日本人の中に根強く流れているからです。そのためか、グローバルなビジネスや金融の世界で大きく活躍できる人材が少ないというのが現状です。

しかし、子供に金貨をあげることで、早くから世界的な視点でお金の価値について柔軟な考えが出来るようになるのです。家庭で始められる金銭感覚を養う素晴らしい教育だと確信しています。

是非、大切なお子様のために、お誕生日のプレゼントやお年玉に、金貨をプレゼントしてみてはいかがでしょう。

---

【金に関する豆知識⑤】バブル期に流行った喜平やコインペンダントが、最近はどんどん買い取りに持ち込まれている。流行遅れであることと、不景気なのでとにかく現金化したい人が増えている。中には、チラシに「高価買い取り」などと印刷してバラまき、主婦などが金相場に無知なのをいいことに、安く買ったたく業者もいる。



## 一枚の金貨があなたの命を守る！

日本人より、中国やインド人などの外国の人々の方が金を好む傾向があります。また、一般的に日本人以上に金に対して価値を置いています。

それは大陸に住む多くの民族の歴史は侵略と略奪の繰り返しであり、自分と家族の身の安全を守るために、金で命を守ってきたという事実があるからです。遠い昔から古今東西、金の価値はそう大きくは変わることはありませんでした。人々はある土地からまた新しい土地へ移動するとき、身につけてきた金によって生き延びてきました。つい最近の近代まで金を持っていたために、命が助かったという話は無数にありました。

現在でも中国やインド人の多くは、たくさんの金の宝飾品を持っている人が少なくありません。金でできたイヤリングや指輪、腕輪、首輪などを身につけている人もいます。

これは、着飾るといふ目的以外にも、争いが始まった時などに、着の身着のまま逃げても、体に財産を身につけていればとにかく命だけは守れると考えているからでしょう。ですから彼らの金は、日本のものよりも純度が高くなっているのが一般的です。当然のこ

とですが、純度が高ければ高いほど高く売れるからです。

現代版のアリとキリギリスの話では、キリギリスは、稼いだお金を全て使ってしまった、金を貯蓄しておかなかったばかりに、冬には凍えるような生活を余儀なくされます。一方、アリは貯金していた金貨で冬を快適に過ごすことができました。

堅実なアリのことですから、遊んで過ごしていた自業自得のキリギリスに、一生懸命に貯めた金貨を、簡単には貸してくれることはないでしょう。まして、春がいつ来るのか分からないような冬を過ごしていれば、なおさら人に金貨を差し出してくれるようなことは考えにくいです。

この話は寓話ではなく明日にでもあなたの身にも起こりえることです。金貨を少しずつ貯金することは誰にでもできることです。あなたの今の収入が多いか少ないかで未来のあなたの置かれる状況が決まるのではなく、あなたが来るべき冬のために、今、どのような準備をしているかで大きく変わってくるのです。

---

【金に関する豆知識⑥】 共産国家である中国では、少し前まで金の個人所有が認められなかった。しかし、近年に解禁となり現在は多くの中国人が競って金を買っている。いざとなれば、海外逃亡の際に持ち出せる。毒性がないので、飲み込んで隠すことも出来る。中国人は古来より金と翡翠を珍重してきたが、翡翠は偽物を作る技術が進みすぎたので信用度がない。



## 金はほぼ買ったときと同じ値段で売れる！

金の価値は、大暴落することはないと繰り返し述べてきましたが、それでも、売買するときには多少目減りすることがあります。

例えば、買う時には一万六千八百円円だった金貨が、売るときには一万五千二百円位になります。これは、金貨を売買するときの人件費や流通コスト、パッケージ代、鑑定料などの必要経費が含まれているからです。地金型のカンガルー金貨やメイプル金貨を購入して、その日にすぐに売却をする場合には、9割程度で当社は買い取ることもできます。

「なんだ、買った時の値段より下がるんだ。」

「一割目減りするなら銀行に同額を貯金しておいた方がいいよね」

いう声が聞こえてきそうですが、そうがっかりしないでください。

ブランド品の場合は、一度使用してしまうと価値的には五分の一、十分の一、もしくはそれ以下になってしまうのに比べ、金貨はたった一割程度しか下がらないのです。しかもそれは、売却時の売買手数料などが入った金額であるなので、資産としては買ったときと

同じ価値があると考えていいのです。

また、同じ一万六千八百円なら、銀行に貯金した方が良いだろうと考える人もいると思いますが、今の時代、銀行が潰れてあなたの貯金が一瞬にして消える可能性があるのです。そして、たとえ、貯金の全額が生きていたとしても、その額があなたが期待している価値のあるものではなくなっている可能性は高いのです。

それでは、全ての金貨が売るときには下がるのかということとそうではありません。逆に、値段が上がる金貨もあります。例えば、発行部数の少ない金貨や、希少価値の高い金貨、記念コインなどの特殊な金貨、動物コインなどの人気が高い金貨なのです。ですから全ての金貨が、絶対に値引きされるということはありません。

---

【金に関する豆知識⑦】日本画では、金箔や銀箔が画材として使われる。金や銀は存在感があるので、それだけで画面が成り立つ。塗り重ねるよりも豪華に見せることもでき、色を超越した無限の空間などを表現するのに使用される。純金の金箔であれば変色することはない。一方、銀は時間が経つと酸化して変色してしまう。



メープル金貨



イーグル金貨



アメリカンイーグルのプラチナ



UBS ゴールドバー (表)



UBS ゴールドバー (裏)

スぺースイスターナショナル株式会社で扱っている人気金貨の一覧です。  
人気金貨はすぐに完売してしまいますので、お早めにご連絡ください。



こんな面白い金貨や銀貨がある！



カンガルー金貨2010



ウィーン金貨 (表)



カンガルー金貨1996



ウィーン金貨 (裏)



パンダ金貨



干支金貨2010 (虎)



## 日本初、純金の自動販売機誕生！

スぺースインスターナショナル株式会社では、日本で始めての純金の自動販売機を開発しました。平成23年1月17日より、自販機で金貨や銀貨の販売サービスを開始しました。

一・五五グラム、三・一グラム、七・七グラムの金貨や銀貨が自動販売機で購入できます。金貨や銀貨以外では、ゴールドバー1グラム、五グラム、金貨のペンダントトップ、銀のさざぶき5gなども販売されており、15種類以上の製品から選ぶことができます。

### 【金の自動販売機の特徴】

- ・紙幣を投入すると、実際にその場で金貨が購入できます！
- ・金貨だけでなく、純金バー、純金の製品、銀貨も販売します！
- ・買い取り保証書付きなので、売るときもとても安心！



---

【金に関する豆知識⑨】金は殺菌効果があり、柔らかいという特性がある。現代では歯の治療はセラミックや高級合金が一般的だが、金で詰め物をすると、詰め物と歯の接着部分の虫歯の原因となる菌を寄せつけないと言われる。また、やわらかいので歯と金の接合部分にピッタリとくっつき、隙間を少なくすることができる。



## 人材を募集しています！

金貨や銀貨、貴金属を日本に多く流通させることで、将来、皆様の生活を守ると  
というスペーシインターナショナル(株)や金銀の貯金推進協会の使命に共感してくれる  
人を探しております。

私たちは決してお金儲けだけを考えて、運営している会社、協会ではありません。  
しかし、ただ働きをしてくれとはもちろん言いません。通常に日本の会社で働く場合  
と同等か、それ以上のお給料をお約束します。優秀な人材はいつでも大歓迎です。  
お気軽にお問い合わせ下さい。

### 【人材募集に関する問い合わせ先】

スペーシインターナショナル株式会社 代表 六川まで

住所：〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-6-1 京橋長岡ビル1階

Mail : roku@spacein.jp

電話：03-3553-6311 / Fax：03-3553-6315

メールや電話にてご連絡いただけましたら幸いです。



【金に関する豆知識<sup>⑩</sup>】幕末に、大量の金が海外に流れたと言われる。欧米の金対銀のレートと、鎖国時代の日本国内のレートが大きく異なっていたためだ。日本では、金と銀の価値の差が、欧米ほど大きくなかったのである。そこに目をつけた欧米人が、自国から銀を持ってきて、日本から大量の金を持ち帰った。そのため、日本国内の金が激減してしまった。



## 金を贈ることは愛を贈ること

不況が深刻化すればするほど、私たちの生活環境に悪い影響がでてきます。

アメリカやユーロ圏では、債権不履行（デフォルト）があるのか、ないのかではなく、いつデフォルトになるかが、金融関係者で話題になっています。日本の債権不履行、もしくは、ハイパーインフレ発生の時期についても同じです。

これまでの人類の争いは、主に資源や食糧の奪い合いから起っています。もし、争いが始めれば、自分の手で食料を確保できない者は真つ先に命の危険を脅かされることになります。これから必ずやってくる金融危機の発生時には、多くの人々が食糧や生活必需品の買い占めに走るでしょう。その際には、世界中で食糧が手に入りにくい事態が発生する確率は大変に高いと思います。特に、食料自給率が四〇%以下の日本のような国は十分な食料を輸入することが出来ずに、多くの人が深刻な状況に陥ることになります。

そのため、資産防衛、安全保障、食糧の確保の最も良い方法として、私は日本人こそ、いまから金貨や銀貨を購入し、貯蓄しておく必要があります。危機が表面化したあとに、購入しようと思っても購入することはできなくなる可能性もあります。アメリカでは、貴金属購入禁止令というデフォルトの前段階の悪魔のような法律に、オバマ大統領がサイン

をしました。政府はアメリカ国民に金や銀を購入させないようにするというのです。

「でも、日本で金を買うのはお金持ちの人だけでしょう？」

としばしば金の購入を勧めた人から言われますが、それはまったくの逆です。

現段階で、貯蓄や収入が少ない人ほど、金での貯蓄をすべきなのです。明日を生き残るために、金を買って毎日に備える必要があるのです。

愛する家族や恋人、社員へ金貨を贈ってあげてください。金を贈ることは、贈った相手の命を救うこと、つまり、愛を贈ることに他なりません。

先行き不安な状況の中に私たちはいますが、私は日本に金を普及させることによって起りうる危機を乗り切ることができると考えています。

そして、危機の対処に役立つばかりでなく、金の普及が日本の平和を実現すると信じています。さらに、世界の人々が、金を蓄財することによって、世界平和を実現することを強く望み、心から願っています。



金<sup>きん</sup>を贈ることは

愛を贈ること



品 位		発 行	
	99.99%		オーストラリア・パース造幣局
	99.99%		オーストラリア・パース造幣局
	99.9%		中国人民銀行鑄造・発行
	99.9%		中国人民銀行鑄造・発行
	99.99%		カナダ王室造幣局
	99.99%		カナダ王室造幣局
	99.99%		オーストラリア・パース造幣局
	99.99%		スイス・UBS 銀行
	99.99%		スイス・UBS 銀行

	99.9%		オーストリア造幣局
	99.9%		オーストラリア・パース造幣局
	99.9%		オーストラリア・パース造幣局
	99.9%		オーストラリア・パース造幣局

## 取り扱い商品

金 貨	
名 称	重 量
カンガルー金貨 1/10 オンス	3.1g
カンガルー金貨 1/4 オンス	7.7 g
パンダ金貨 1/20 オンス	1.55g
パンダ金貨 1/10 オンス	3.1g
メイプル金貨 1/20 オンス	
メイプル金貨 1/10 オンス	3.1 g
メイプル金貨 1 オンス	31.1g
干支 金貨 1/20 オンス	1.55g
UBS ゴールドバー 1g	1g
UBS ゴールドバー 5g	5g

銀 貨	
ウィーン銀貨 1 オンス	31.1g
イーグル銀貨 1 オンス	31.1g
メイプル銀貨 1 オンス	15.5g
干支 銀貨 1 オンス	31.1g